

基本構想を踏まえた 基本計画の目標

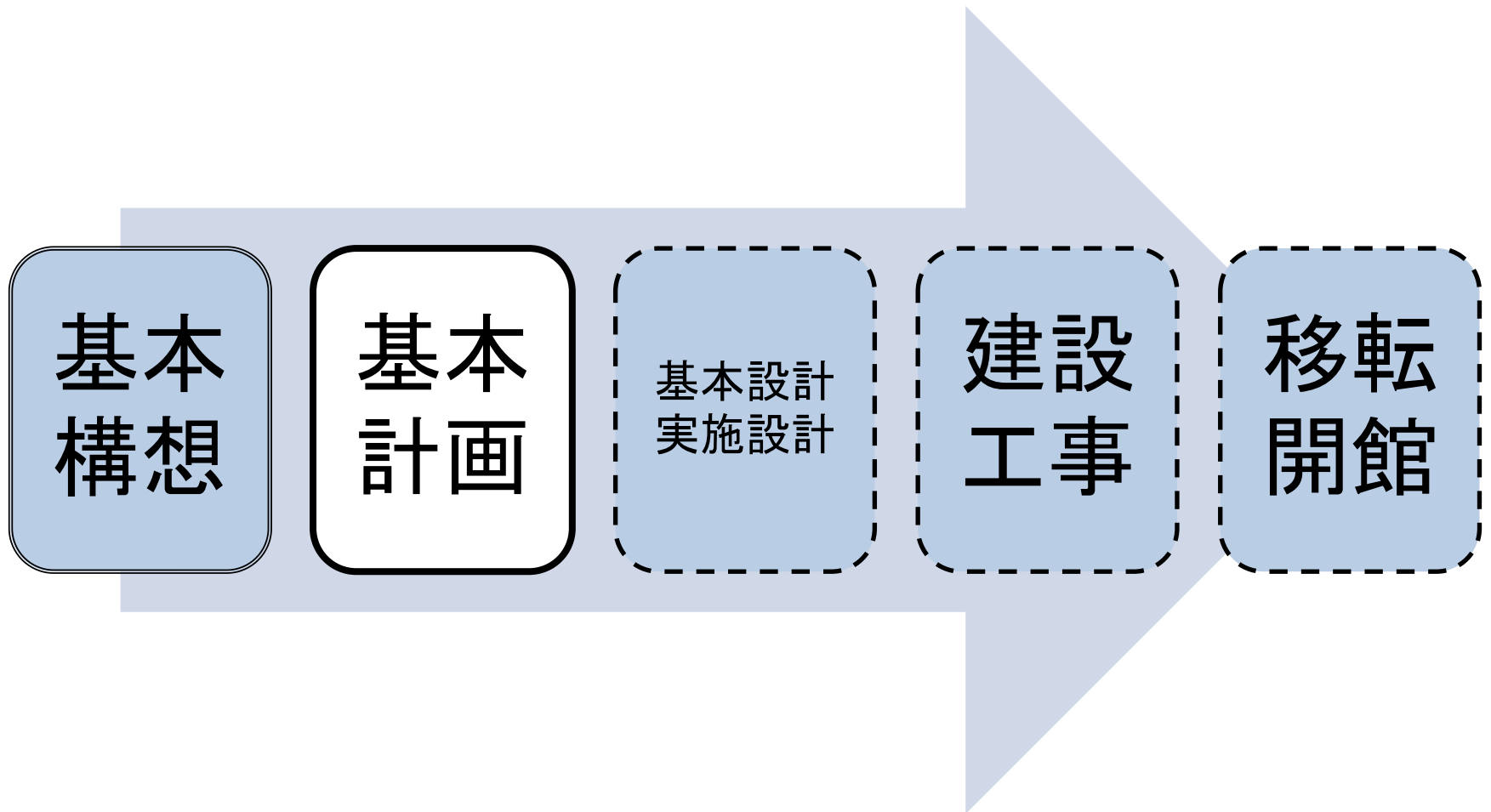
平成30年2月18日

多摩市立図書館本館再整備基本計画
検討委員会(第1回)資料

内容

- 図書館整備のステップにおける基本計画の位置づけ
- 基本計画の検討ステップ
- サービス計画について
- 資料収集計画について
- 運営計画について
- 建築計画について

図書館整備のステップにおける 基本計画の位置づけ



図書館整備のステップにおける 基本計画の位置づけ

基本構想

- 知の地域創造の提言
- 図書館ネットワーク全体とそれを支える中央図書館が、どう機能すべきか

基本計画

- 基本構想を踏まえて
- 全館のサービス、資料、運営はどうあるべきか
- 中央図書館はどうあるべきか
- 中央図書館の施設計画

基本設計 実施設計

- 基本計画の「建築計画」をベースに基本設計
- 整備費用の概算
- 実施設計では、工事費が見積もれるように詳細な設計

基本構想の概要 — ポイント



「知の地域創造」とは 図書館に求められること

資料

- 電子メディアも含めた奥行きのある資料世界の構築
- 課題解決
- 情報をシェア
- 新たな発見

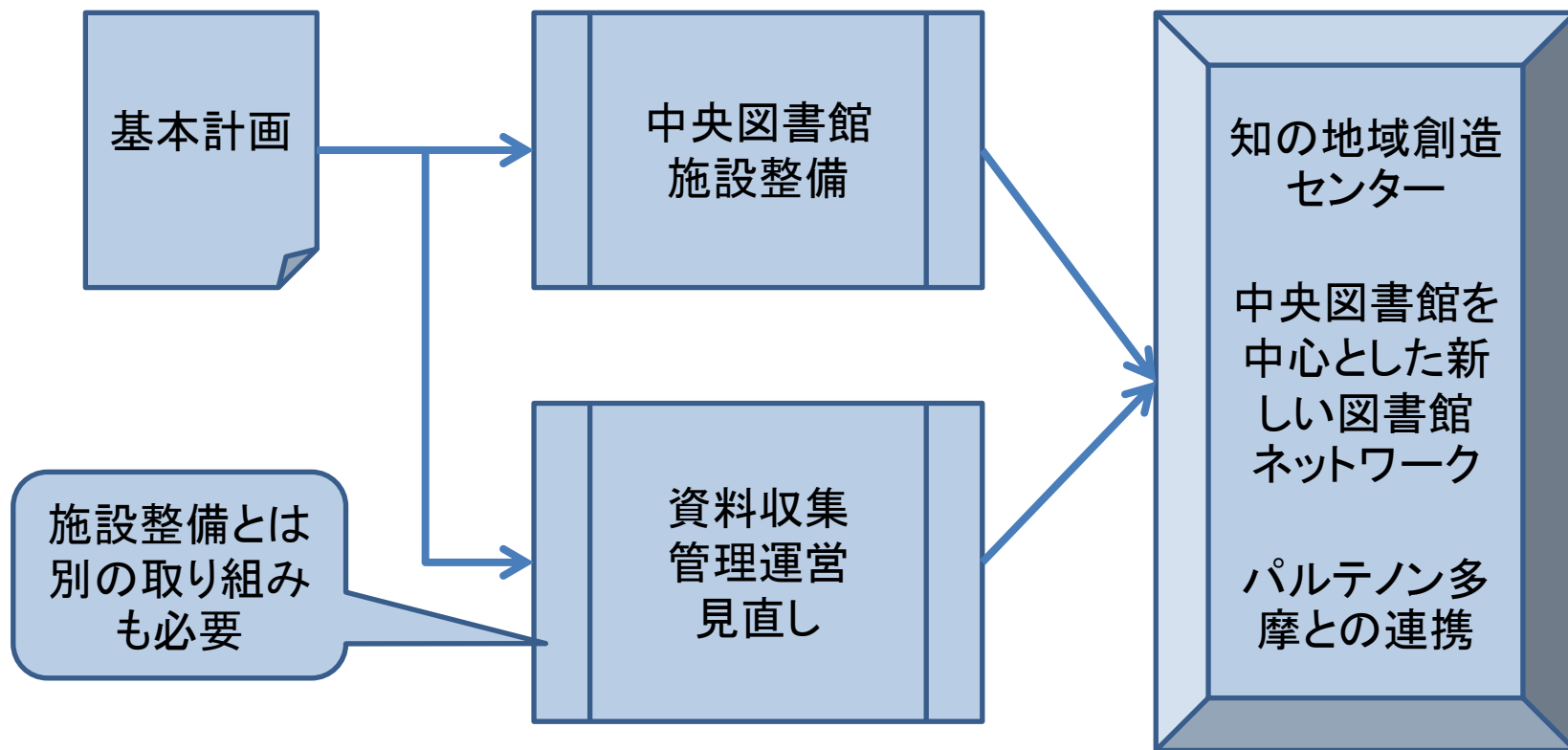
職員

- 「人」と「社会」を資料でつなぐ図書館員
- 図書館員ももっと行動していく

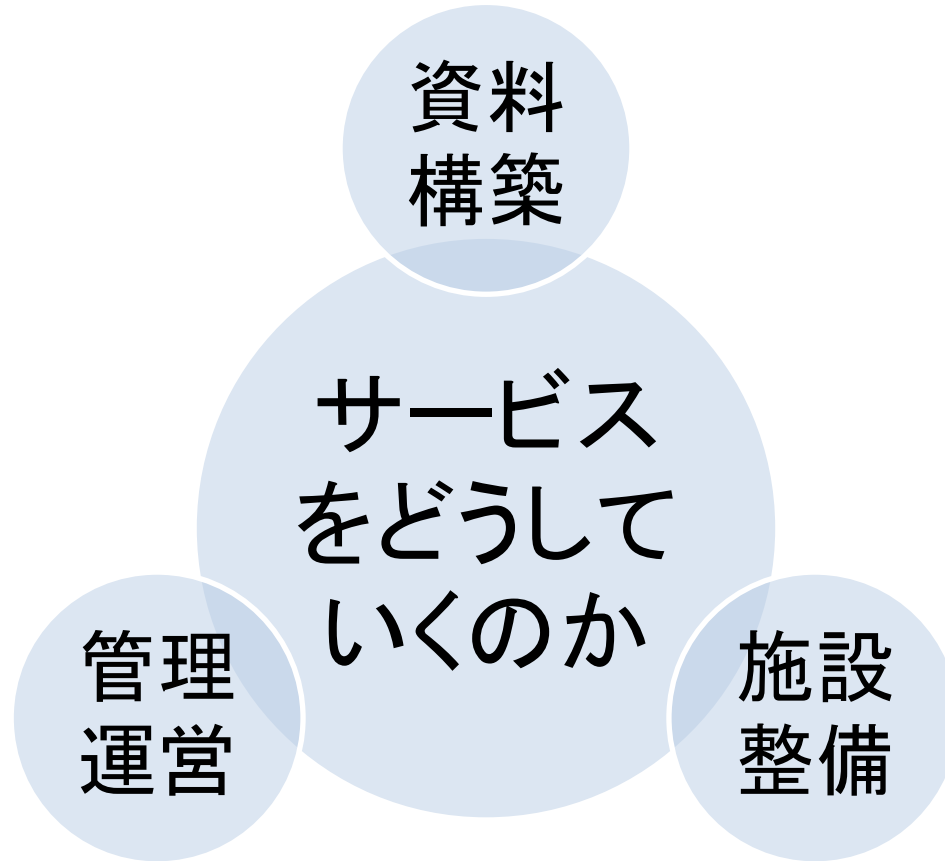
サービス、施設

- 単に本を貸し出す場だけでなく
- ところに響く催し
- 多世代交流の「ひろば」
- 共に学び・育つ場

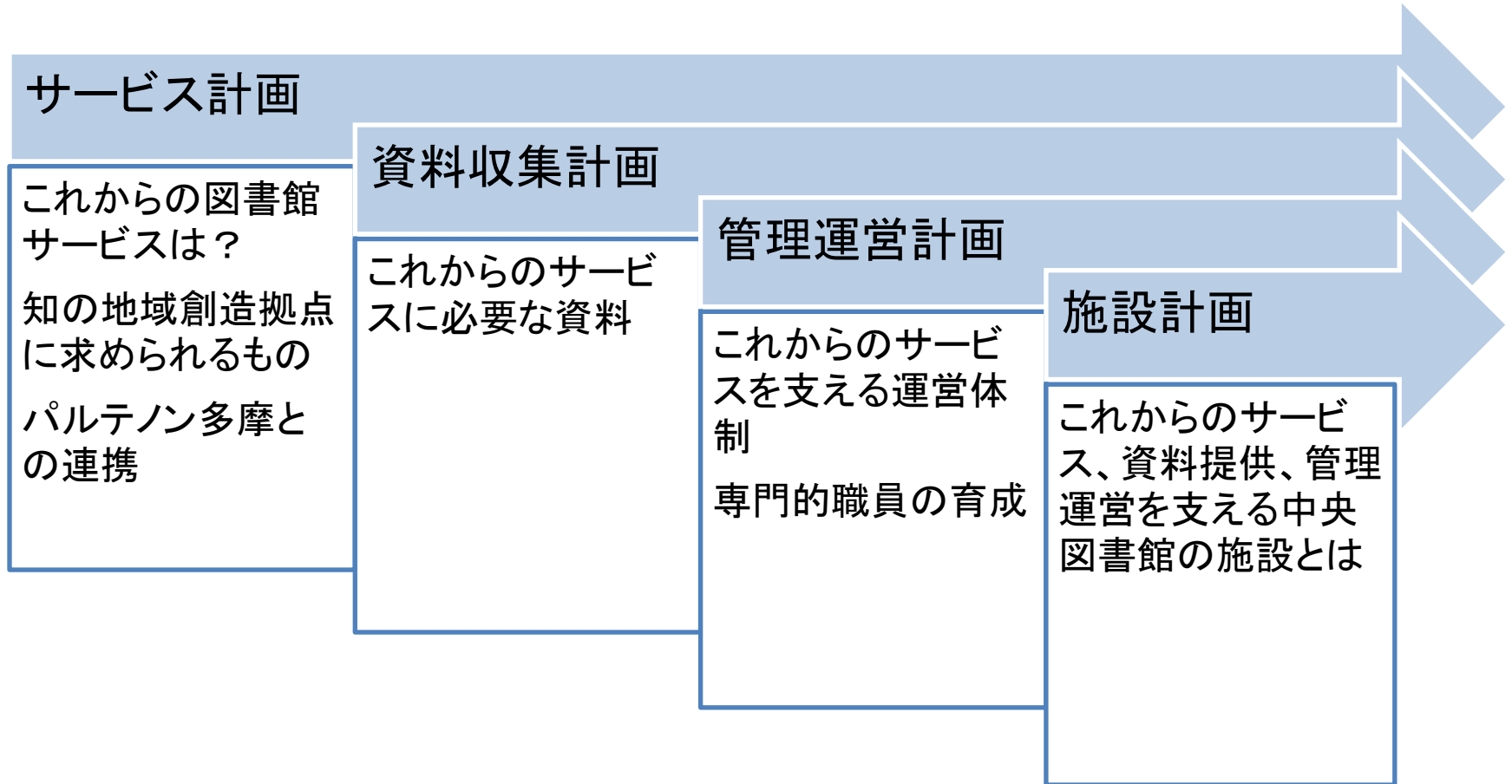
図書館整備のステップにおける 基本計画の位置づけ



基本計画の検討ステップ



基本計画の検討ステップ



サービス計画について

- サービスを見る4つの視点



図書館を使う人たち
(地域に住む人々)



図書館で出会うもの



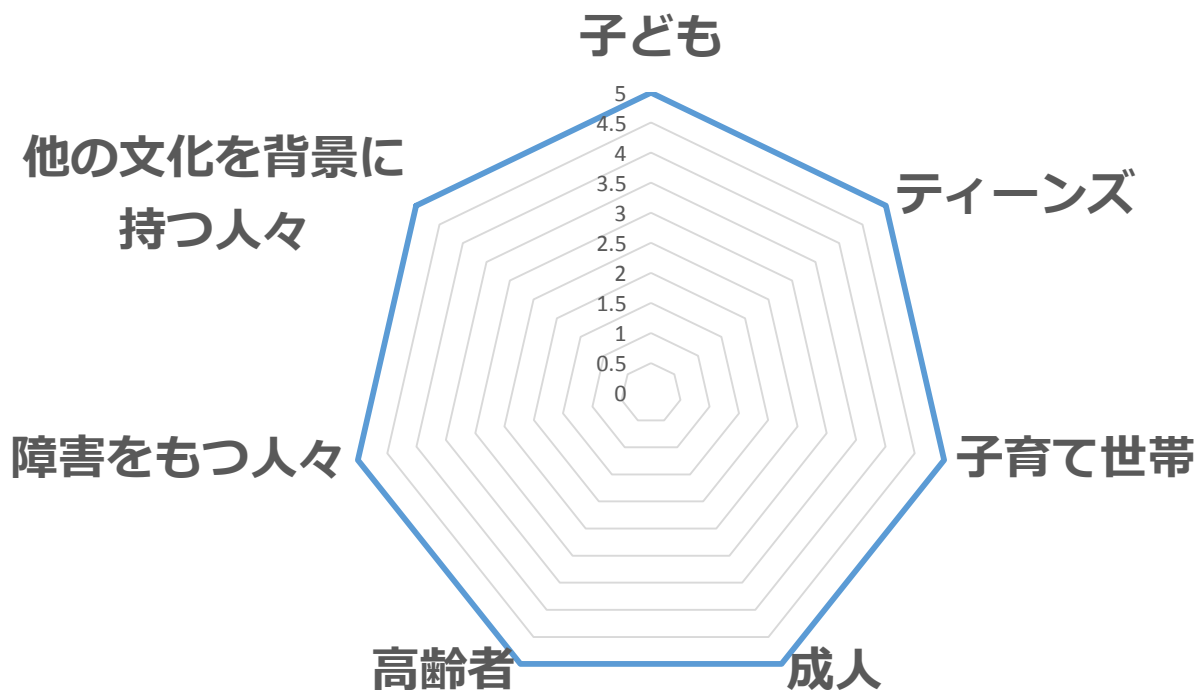
図書館サービスの場



利用にこたえる活動

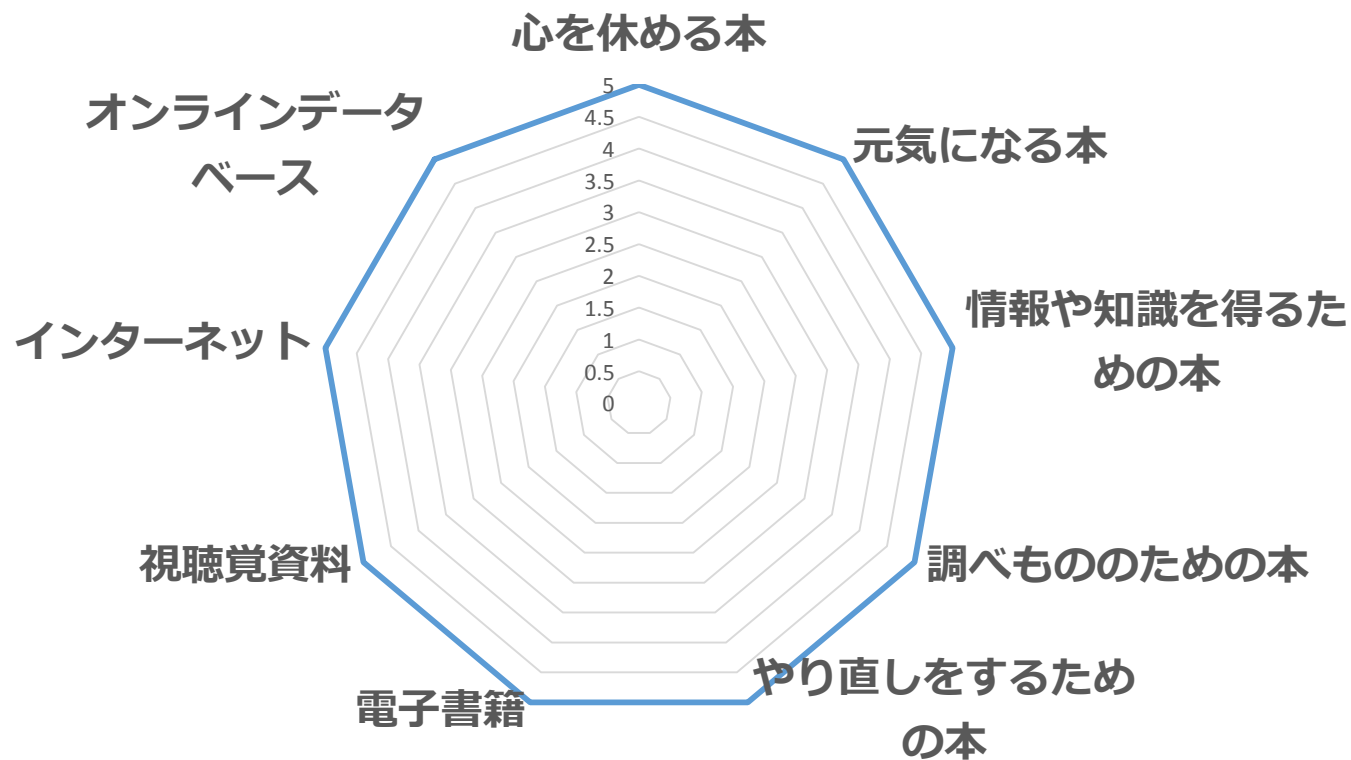
サービス計画について

視点1 図書館を使う人たち



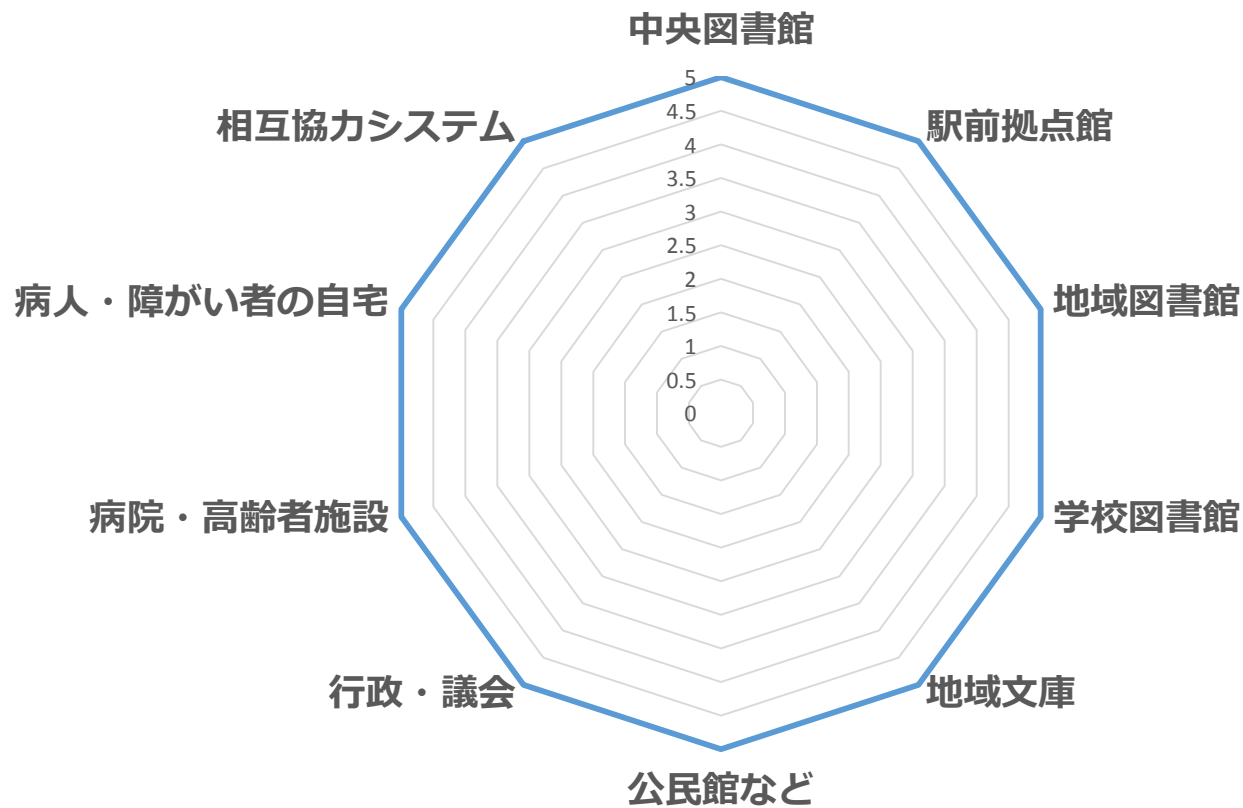
サービス計画について

視点2 図書館で出会うもの



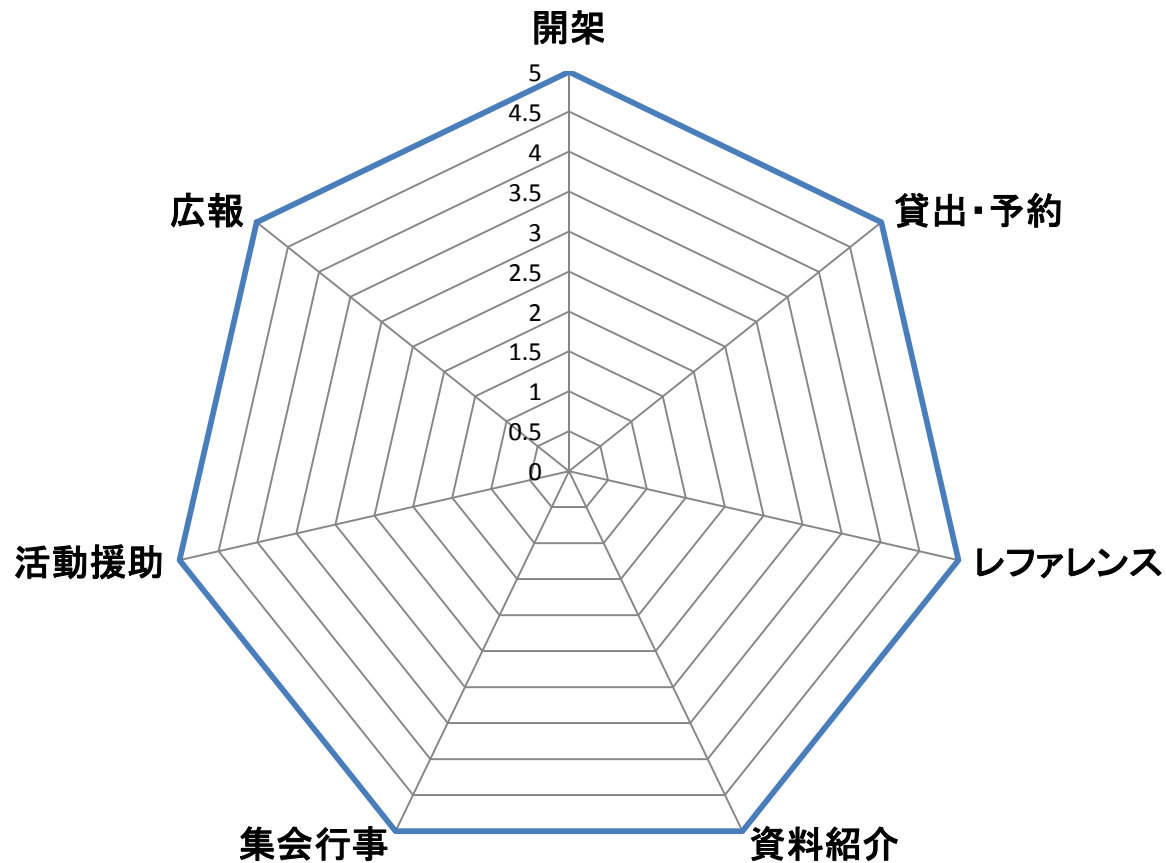
サービス計画について

視点3 図書館サービスの場

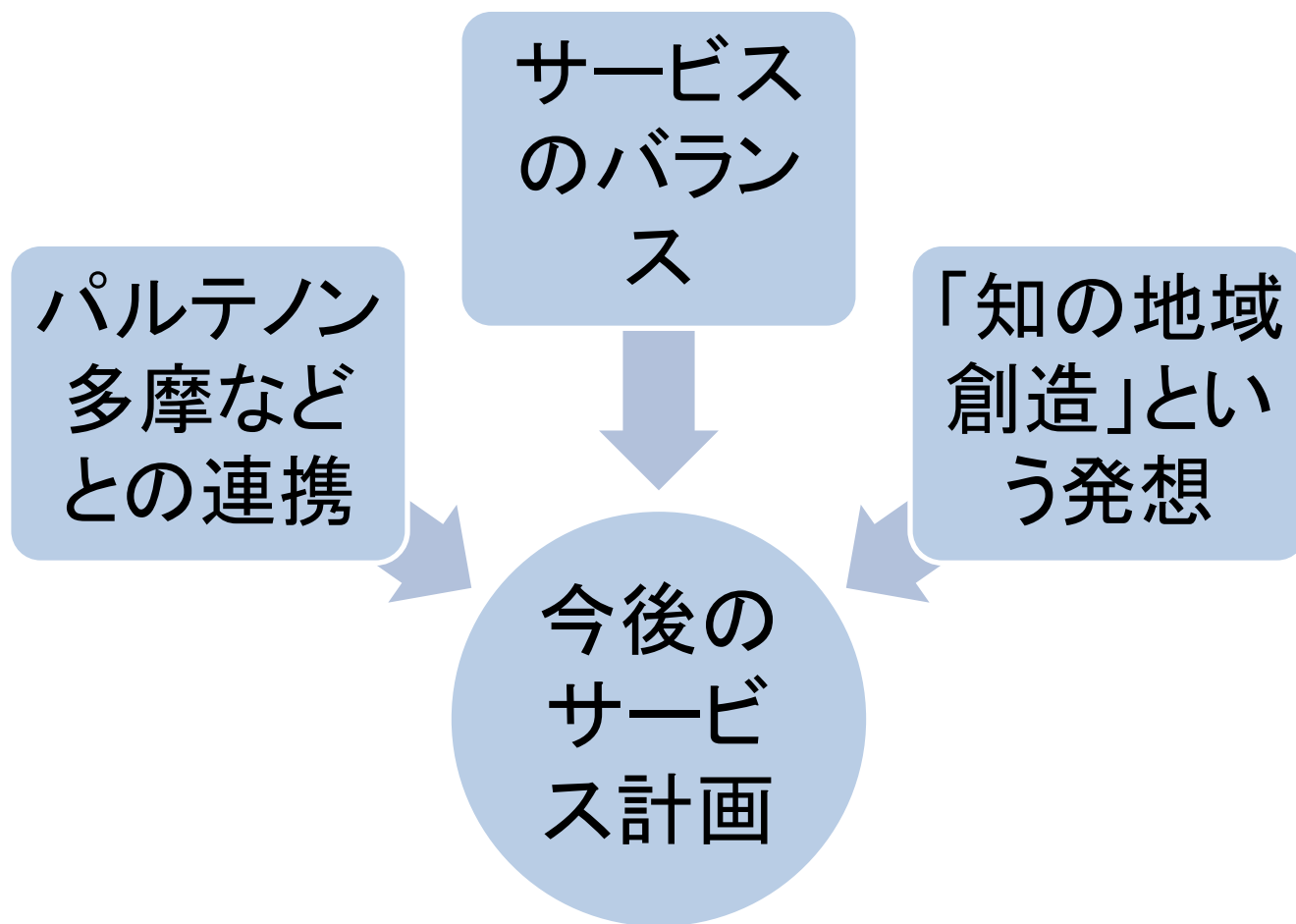


サービス計画について

視点4 利用にこたえる活動



サービス計画について



資料収集計画について

- 全館の蔵書構成の評価
(冊数の配分、貸出回転率、動かない本、新鮮度、など)
- 資料種別の見直し
(オンラインデータベース、地域資料、視聴覚資料、マルチメディアデイジー、電子書籍・雑誌、コミックス、・・・)

資料収集計画について

- 分類別構成の見直し
- 全館の蔵書配分について
- 中央館の開架、閉架書庫、開架書庫について
- 資料収集方法について

運営計画について

- 現在の運営の評価（休館日、開館時間など）
- 今後の図書館運営について
- 職員の役割、市民協働
- ICタグの導入
- 職員の専門性について

建築計画について

- 資料収集計画に対応した開架、書庫等の規模と配置
- 利用者用スペースの規模と配置
(エントランス、ギャラリー、開架・閲覧エリア、書庫、児童エリア、ティーンズ・エリア、対面朗読室、学習席、講座室、グループ学習室、学校図書館支援コーナー、緑陰読書テラス等)
- 職員用スペースの規模と配置(カウンター、事務室、作業室、配送室など)

建築計画について

- 利用者と職員の動線の分離と確保
- ユニバーサルデザイン
- 将来を見据えたフレキシブルな施設
- パルテノン多摩や多摩中央公園との役割分担と連携
- 公園に溶け込む景観などの親和性
- 環境に配慮した省エネルギー対応
- 整備費と維持管理費の考慮

基本計画の目標

